会員サイト公開用　役員活動報告書

名　前	長谷川　大悟
担当業務	広報業務全般（会報誌発行事業、ホームページ運営管理事業、理学療法広報啓発事業、障害者助成事業、理学療法関連情報配信事業、広報企画運営事業、管理・入会促進等)、災害関連規程検討部会、全国リハビリテーション医療関連団体協議会、報酬改定(介護・障害福祉)対策強化推進部会、訪問リハビリテーション振興委員会、リハビリテーション専門職団体協議会報酬委員会、前記に附帯又は関連する調査・調整等

内　　容			
日　付	他団体	会議名	場所
7月3日		第3回　R10年度報酬改定対策強化推進部会	オンライン
7月4日		理事会	日本理学療法士協会会館
7月4日		役員勉強会	日本理学療法士協会会館
7月8日		第1回　災害関連規程検討部会	オンライン
7月9日		会報誌（JPTA_NEWS）ミーティング	オンライン
7月13日		代議員研修会	オンライン
7月22日		広報企画課会議	オンライン
7月22日		第1回　法改正検討特別委員会	オンライン
7月26日	○	日本在宅ケア・サミット2026	東京大学
7月28日		新聞社からの取材対応	オンライン
8月1日		学会運営協議会	日本理学療法士協会会館
8月1日		災害対策本部会議	日本理学療法士協会会館
8月1日		第4回　臨時理事会	日本理学療法士協会会館
8月1日		理事懇談会	日本理学療法士協会会館
8月4日		災害対策本部会議	オンライン
8月10日		第2回　災害関連規程検討部会	オンライン
8月12日		会報誌（JPTA_NEWS）ミーティング	オンライン
8月14日	○	JRAT令和8年熊本地震報告会	オンライン
8月17日	○	第7回全国リハビリテーション医療関連団体協議会	オンライン
8月18日		災害対策本部会議	オンライン
8月18日		広報予算に関する打ち合わせ	オンライン
8月19日	○	令和8年第2回訪問リハ振興委員会	オンライン
8月20日		第2回法改正特別検討委員会	オンライン
8月25日		災害対策本部会議	オンライン
8月27日		顧問との会報誌打ち合わせ	オンライン
8月28日		広報企画課会議	日本理学療法士協会会館
8月28日	○	令和8年熊本地震第2回報告会	オンライン

9月3日		第3回災害関連規程検討部会	オンライン
9月5日		理事懇談会	日本理学療法士協会会館
9月5日		ジャーナリストとの広報に関する面談	日本理学療法士協会会館
9月7日		会報誌（JPTA_NEWS）ミーティング	オンライン
9月7日		賛助会員に関する打ち合わせ	オンライン
9月8日		第4回診療報酬改定対策強化推進部会	オンライン
9月9日		訪問リハビリフォーラム企画打ち合わせ	オンライン
9月10日		第3回法改正検討特別委員会	オンライン
9月14日		厚生労働大臣視察同行	茨城県内各医療機関
9月16日	○	全国リハビリテーション医療関連団体協議会	オンライン
9月16日	○	R8第3回訪問リハ機能担当者会議	オンライン
9月17日		業務執行理事会	オンライン
9月17日		第4回　法改正検討特別委員会	オンライン
9月24日		第5回　法改正検討特別委員会	オンライン
9月25日		広報企画課会議	日本理学療法士協会会館
9月29日		災害対策委員会	オンライン

所感

【災害関連規程検討部会】
部会長として、部員とともに既存の緊急時対応規程の見直しに着手した。災害対策関係規程、災害支援業務計画およびBCPの関係を整理し、指揮命令系統と役割分担の明確化を進めた。実際の災害対応で機能する規程案として提示できるよう、引き続き精査の上、年内に「組織・規則検証委員会」「理事懇談会」へ上程し、来年の理事会審議を経て、規程集への収載を目指す。

【災害対策本部会議・JRAT報告会】
熊本地震に係る災害対策本部会議およびJRAT報告会に参画し、支援活動の経過と課題を確認した。得られた知見を、現在整備している規程、業務計画および具体的な運用手順へ反映する。

【法改正検討特別委員会】
第1回から第5回までの委員会に参画し、現行制度の課題と改正論点の整理を進めた。改正の必要性だけでなく、実現可能性、優先順位、改正後の運用まで見据えた提案となるよう、レポートを作成し委員会に提出した。引き続き、時間軸を意識した実行可能な発言と行動に善処する。

【令和10年度報酬改定対策強化推進部会】
診療報酬改定に向けた論点を確認し、患者・利用者本位の視点を軸に意見を述べた。現場の課題と理学療法の効果を根拠とともに示し、実施可能な要望として整理していく。

【障害福祉サービス等報酬に係る検討】
障害福祉分野の制度検討に関わり、厚生労働省の生産性向上ガイドライン策定に係るアンケートに協力した。障害福祉固有の支援の目的や利用者像を踏まえ、現場の実情が制度へ反映されるよう取り組む。

【訪問リハビリテーション振興委員会】
本会を代表し、副委員長として他団体との議論に参画している。次年度の委託内容

	を整理するとともに、訪問リハビリテーションフォーラムの企画を検討した。関係者の役割と企画の狙いを明確にし、実行可能性と関係団体との合意を重視しながら具体化を進める。 **【全国リハビリテーション医療関連団体協議会】** 医療・介護報酬改定に向け、関係団体との協議に参画した。個別団体の要望にとどまらず、リハビリテーション医療全体の質の向上と、理学療法士の専門性が制度上適切に評価されるよう担当執行理事とともに参画する。 **【広報企画課会議】** 本会広報企画課職員と定期的な会議を行い、意思疎通を図りながら会報誌・Web サイト・SNS・メールマガジン等の運用を継続した。加えて、協会サイトのアクセス解析、LINE による入会促進、次年度の啓発施策等を進めた。 都道府県士会の広報担当者同士がつながるオープンチャットでは活発な交流を持って一定の機能を果たしている。今期はさらに拡張した媒体として、都道府県士会広報担当者向け「BOKURA 相談ルーム」を開設し、外部専門家との相談窓口として運用していく。また、年内に開催を予定している全国広報担当者会議に向け、鋭意準備を進める。 **【会報誌（JPTA_NEWS）ミーティング】** 8 月号の発行、10 月号の制作、12 月号以降の企画を進めた。会報誌の電子化については、全会員向けアンケートを継続し、利便性、費用、情報格差等を含めて判断できるよう、結果の整理を進めた。 **【業務執行理事会】** 第 2 四半期の所管する広報事業について、定例的な発行・配信を含め、年間計画どおり進行していることを報告した。第 3 四半期は、広報効果の検証と、検討段階にある各事業の具体化に重点を置く。 **【理事会】** 所管事業の進捗を踏まえ、広報、組織運営、災害対応等に関する議案・報告について意見を述べた。公益法人としての公平性と説明責任を意識し、実行可能性を常に確認しながら審議に参画した。 法改正と言う大きな課題に取り組んでいく際「本会顧問選任」について賛成の立場から発言した。 担当する 2025 年度障がい者団体助成事業について、助成団体の事業実施報告について報告し、次年度も継続事業とする。 **【役員勉強会】** 公益法人の役員に求められる法的責任と組織運営上の役割について理解を深めた。所管事業の判断に当たってもアドボカシー活動を意識し、協会全体への影響を見据えて対応する。 **【理事懇談会】** 所管事業および協会運営上の課題について意見交換した。正式な意思決定に先立ち、論点と影響を確認し、実現可能性を踏まえた意見形成に努めた。 **【その他、団体会合・面会等】** 日本在宅ケア・サミットへの参加、新聞社の取材対応、ジャーナリストとの面談、厚生労働大臣の医療機関視察への同行等を通じ、外部の視点と現場の課題を把握した。また、次年度の著名人起用の交渉内諾、映画・大手出版社によるマンガを活用

	した共同企画との広報連携も進め、本会の媒体だけでは届きにくい層との接点拡大を図った。 **【総括】** 複数の所管事業を並行して進めたが、第 2 四半期も滞りなく計画通り遂行した。 次期第 3 四半期は、広報施策の新たな展開およびそれらの効果検証により事業改善につなげ、検討段階にある案件を具体的な提案と実行へ移す。
報告日	2026 年 10 月 17 日

※「他団体」に〇がついている項目は、本会役員として他団体に関与しているものです。